

## 皆既月食 久しぶりのフィルム写真

12月10日の皆既月食の第2弾として、フィルム写真のことを書きます。

今回の月食は好天が期待できそうだったので、どのような写真を撮ろうかと、事前に仲間内でネタの出し合いとなりました。直焦点撮影と皆既中の星景写真は定番として、そのほかに連続撮影をしたいなあという話になり、今回は深夜に皆既となるので地上風景を入れるのは難しそう。。。いや、対角魚眼なら大丈夫だよ。いや、いっそのこと、全天周魚眼ではどうか。となると、撮影は月出から月没まで半日勝負だよ(^\_^;)と、どんどん発想はエスカレートしていきました。

宣言した以上はやらねばなるまいということで、久しぶりにブローニーサイズの全天周魚眼カメラ(2010年8月参照)を持ち出してきて、夜食も仕入れて夕方5時からスタンバイをしました。しかしながら、月出直後は晴れていたものの、月が上がるほどに雲が厚くなり、上海雨女のS女史が登場した頃にはドン曇りとなってしまいました。一応は、晴れ間を縫って連続撮影は続けていましたが、この時点で計画はほとんど断念状態です。(少しうれしい)しかし、S女史が帰ると、にわかには晴れ間が広がって皆既に向かう部分食の中盤からは快晴の空になりました。その後も着々と撮影を続け、半影食の終了の頃に、まあこの辺でとでということ、撮影は終了しました。

翌日に、早速にフィルムを現像に出したのですが、現像に1週間、さらにプリントに1週間と、長い期間を要し、おまけに代金も随分と割高になっていました。なかなか、フィルムの写真を楽しむというのは難しい時代になってきたようですが、それでも、現像が出来上がったポジをルーペで確認する作業は、ディスプレイ上でファイルを確認するのとはまったく違う醍醐味があります。さすがに35mmはもう出番は少ないと思いますが、ブローニーや4×5は、まだまだデジタルでは追いつけないところがあると思っています。

また、本紙に掲載するために久しぶりにスキャナでポジをスキャンしたのですが、フラットベッドスキャナに透過原稿ユニットの組み合わせで、8bitタイプのため、あまり良い画像は取れず、4枚をコンポジットしてようやくまあまあなものになりました。しかしながら、暗い部分を持ち上げると赤・緑・青のゴーストが別々の箇所に出るのが見えてくるという難儀なことになっていて、こちらは回避が難しいところです。まあ、フィルムはフィルムとして銀塩プリントしなさいということなんですか。



皆既時の星野 (Fuji GA645W)



皆既月食の連続写真 (Zenitar 16mm マミヤホルダー)

## メカが大好き ファミスコ60

ファミスコというのは、旧トミーの一部門(その後の Borg) がハレー彗星の到来に合わせて発売した小型の望遠鏡です。口径 60mm 焦点距離 400mm のアクロマート(実はセミアポラシイ)で、きちんと使えば結構良く見える望遠鏡です。(但し、アイピースはちよいとダメ)当時の天文雑誌でも使い方の工夫がよく紹介されていましたね。

しかしながら、おもちゃメーカーが発売した宿命か、ハレー彗星が去ってしまうとディスカウントショップで投売り状態となり、写真のものは三脚つきで 2,980 円で買ってきたように覚えています。

この望遠鏡、鏡筒はプラスチックの伸縮式で軽量・コンパクト、接眼部にはなんとフリップミラーがついているという抜群のパフォーマンスになっています。そんなことで、現在もガイド鏡として現役で、補強をしたうえでビデオカメラをつ

けて重宝に使用しています。特に海外遠征には機動性がものをいいます。もう傷だらけになってしまいましたが、まだまだ当分は使っていくつもりです。



## Books & CDs プランク・ダイヴ／グレッグ・イーガン

SF を読むときは、作家で選ぶ傾向があるため、最初に読んだ本の印象が悪いと、さっぱり読まなくなります。

さて、標題のイーガンですが、実は最初に読んだ氏の小説が、「宇宙消失」で、読み始めてはみたものの、どうにもこうにも概念上のソリがあわなくて読み進めることが出来ず、それっきりになっていたものです。

最近になって、本屋で素敵な表紙イラストに引かれて、この本を買ってしまい、少々後悔をしつつ読んでみると、とても引き込まれる短編ばかりで、これまでの印象が間違っていたことに気づきました。

どうも、氏は、いろいろなところに触手を伸ばす作家のようで、たまたま最初に手に取った本が自分にとって良くなかったようです。でも、未だにアレルギーは少々残っていて、いざ次の本を買うかという、躊躇してしまいましたが・・・



## 編集雑記

天文年鑑の 2012 年版が発売されて、あちこちと眺めていると、時々、基本的な数字が変わっているのに気づくときがあります。例えば 1 天文単位は、自分が覚えたときは、149,598,100Km だったのに、今は、149,597,870Km になっていますし、光速も変わっています。これは、観測技術の進歩などで精度が向上したことなど、いろいろと事情があるのですが、記憶している数字が変わっていると少々ショックです。

一方、(これは天文ではありませんが)昔は、空気中の二酸化炭素は 300ppm と覚えていたのに、最近に読んだ本で、「約 400ppm」と書いてあるものがありました。こっちのほうは、本当に年々濃度が高くなっていて、とうとう概数でさえ書き換えなければいけないところまで来てしまったことにショックでした。

Kz\_Wada 和田一人